

# そうらく栄養連携サポートブックについて

令和7年2月

## 1 目的

高齢化が進む中、継続した栄養管理が必要な療養者等が、病院・介護施設・在宅等と、移動した場合も速やかに適切な栄養ケアを継続することが、対象者の低栄養予防や QOL の維持・向上等のためには重要であり、その実現には支援者同士の連携が不可欠となります。

このため、各支援者が移動前の履歴等を速やかに把握し、栄養ケアを継続できるよう、各施設の嚥下調整食等の情報や、担当者連絡先などをまとめ、栄養情報の連携ツールとして作成しました。

## 2 作成

栄養管理連携ワーキング会議(山城南保健所 高齢者等栄養管理支援事業 P51 参照)

## 3 内容

### (1) 栄養情報連携担当者 連絡先一覧

担当者間で連絡が取りやすくなるよう、電話やメール、問い合わせ方法などをまとめたもの

### (2) 管内施設の栄養関連情報(嚥下調整食 等)

#### ●対象施設

山城南保健所管内の医療機関、高齢者施設、障がい者施設 等(入所施設)

#### ●掲載内容

各施設で提供されている食・栄養に関する以下の情報及び担当者の情報等

①水分とろみ、水分ゼリー、経腸栄養剤、栄養補助食品の提供状況

②嚥下調整食の情報一覧

「日本摂食嚥下リハビリテーション学会嚥下調整食分類2021」の各コードに対応した、施設毎の情報を一覧にまとめたもの

### (3) 施設一覧

嚥下調整食のコードを施設間で紐づけしやすいようにまとめたもの

## 4 利用する場合の留意点

- ・嚥下調整食の情報については、同じコードでも施設で多少の違いがあることが考えられますので、対象者のアセスメントを十分に行ったうえで御活用ください。
- ・管内の支援者同士の連携がスムーズに行えるよう、担当者の氏名やメールアドレスなどの情報を掲載していますので、取り扱いに御注意ください。

## 5 今後について

- ・掲載内容については、ご利用いただく皆様のご意見を伺いながら、内容の充実を図るとともに、定期的に情報を更新していきます。今後とも御協力いただきますようお願いいたします。
- ・山城南保健所のホームページへの掲載についても検討していく予定です。